

科目名 Course Name	地域観光論 Area Tourism			ナンバリング No.	E4-002		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(本館 2F)で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP4,DP5,DP6						
授業の概要と 到達目標	<p>日本全国で観光を活用し、市町や地域を活性化させようという取り組みが活発になっている。それぞれの地域の魅力を発掘するため、地域の特徴を知ることによって、何をどう生かして地域を元気にし、盛り上げていくのかという地域の事例を解説していく。</p> <p>①社会構造の現状と変化を理解し、日本の将来像を述べるようにする。 ②各地域の社会動向を把握し、歴史、文化、習慣と観光資源の地域の現状を、身近な事象として捉えることができるようにする。</p>						
授業の方法	全国各地域の地域活性化に向けた取り組みを検証しながら、課題を見つけ出していく。ニューツーリズムと言われる新しい形態の観光の現状や課題およびその解決策等の検討（課題解決型学習）を行う。						
学習成果	L01	自分の住む地域の観光資源を発掘し、観光振興に活かす施策を考えることができる。					
	L02						
	L03	日本各地のニューツーリズムの取り組みを説明することができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	質問や疑問等に対しては、授業内にて回答・説明し、各自にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	適宜、プリントを配布する						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。 						
担当教員の実務 経験							
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業に集中し、ノートをとっている。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象となっている。S 評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。	10		10			
レポート/作品	まちづくりをテーマにレポートに取り組む。課題の本質と学習成果が十分にまとめられた内容となっていること。S=90-100	10		10			
発表	自分の住んでいる地域のまちづくり案を発表。S=90-100	30		30			
小テスト							
試験							
その他							
合計		50		50			

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義内容・講義の進め方等）
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の確認
2	授業内容	観光産業の発達と歴史 観光資源の種類
	事前・事後学習	観光資源の種類 復習
3	授業内容	ニューツーリズムの概要
	事前・事後学習	ニューツーリズムの復習
4	授業内容	グリーンツーリズム ブルーツーリズム
	事前・事後学習	グリーンツーリズムの復習
5	授業内容	イベントを活かしたまちづくり(大道芸ワールドカップイン静岡)
	事前・事後学習	イベントを活かしたまちづくり復習
6	授業内容	イベントを活かしたまちづくり(ご当地キャラ博)
	事前・事後学習	ご当地キャラ復習
7	授業内容	ヘルスツーリズム メディカルツーリズム エコツーリズム
	事前・事後学習	ヘルスメディカルツーリズム復習
8	授業内容	インダストリーツーリズム ヘリテージツーリズム
	事前・事後学習	インダストリーツーリズム復習
9	授業内容	グルメツーリズム ワインツーリズム
	事前・事後学習	グルメツーリズム復習
10	授業内容	フィルムコミッション 聖地巡り
	事前・事後学習	フィルムコミッション復習
11	授業内容	スポーツツーリズム(参加型 体験型)
	事前・事後学習	スポーツツーリズム復習
12	授業内容	サイクルツーリズム
	事前・事後学習	サイクルツーリズム復習
13	授業内容	アドベンチャーツーリズム
	事前・事後学習	アドベンチャーツーリズム復習
14	授業内容	ダークツーリズム
	事前・事後学習	ダークツーリズム復習
15	授業内容	全体のまとめ 発表
	事前・事後学習	ニューツーリズムの総まとめ 復習